MagMeDIP qPCR Kit

C02010020

C02010021

フライリーフ

編集日: 26.04.2021

部品表

物質名	特定名	個数	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
Magbeads		1			3 – 12
ChIP-seq grade water		2			13 – 21
5x MagBuffer A		1	Skin Irrit. 3 / H316 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412		22 – 37
MagBuffer B		1			38 – 47
MagBuffer C		1			48 – 57
5-methylcytosine (5-mC) Antibody - clone 33D3		1			58 – 66
Methylated spike-in control		1			67 – 76
Unmethylated spike-in control		1			77 – 86
MagWash buffer-1		1	Skin Irrit. 3 / H316		87 – 98
MagWash buffer-2		1			99 – 108
DNA Isolation Buffer (DIB)		1			109 – 118
proteinase K		2	Skin Irrit. 3 / H316 Resp. Sens. 1 / H334		119 – 129
Primer pair for meDNA spike-in ctrl		1			130 – 139
Primer pair for unDNA spike-in ctrl		1			140 – 149
human TSH2B primer pair		1			150 – 159
ChIP-seq grade GAPDH TSS primer pair		1			160 – 169
GenDNA Digestion buffer		1	Aquatic Acute 3 / H402		170 – 182
GenDNA precipitant		1			183 – 192

diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

MagMeDIP qPCR Kit

C02010020

C02010021

フライリーフ

編集日: 26.04.2021

物質名	特定名	個数	GHSに基づいた分類	絵表示	ページ
GenDNA TE		1			193 – 202
GenDNA RNAse (DNAse-free)		1			203 – 212

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Magbeads

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Magbeads**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

0.02%アジ化ナトリウムが含まれています 防腐剤として.

アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度←0; 1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体 (懸濁液)
色	茶色
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし
9.2 その他の情報	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順
混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

急性毒性
急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.0.02%アジ化ナトリウムが含まれています 防腐剤として.アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<0; 1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

Magbeads

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

ChIP-seq grade water

バージョン番号: GHS 3.0
次のバージョンの差し替え：: 12.01.2021 (GHS 2)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

物質の特定 **ChIP-seq grade water**

CAS-番号 7732-18-5

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該物質は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

PBT と vPvBの評価の結果

当該物質の評価の結果、PBT でもvPvBでもない.

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

物質名 ChIP-seq grade water

特定

CAS-番号 7732-18-5

分子式 H2O

モル質量 18,02 $^{g}/_{mol}$

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, 耐アルコール性泡, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する．

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと．

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	0 °C
初留点と沸点範囲	100 °C
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない

溶解性

- 水溶解性	あらゆる割合で混ざり合う

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

GHSに基づいた分類

当該物質は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

廃棄物処分に関連する情報

その他の無機物の再生利用／回収利用.

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該物質の化学物質安全性評価は実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.3	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50 メール: info@diagenode.com	該当
7.1.3	取扱：安全取扱注意事項		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.2.2	保管：技術的対策		該当
7.2.3	保管：混触禁止物質		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.3	特定の最終用途: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

5x MagBuffer A

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **5x MagBuffer A**

製品コード C01019015

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
4.1A	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402
4.1C	水生環境有害性ー長期間（慢性）有害性	3	Aquatic Chronic 3	H412

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告
- 絵表示 必要ない

- 危険有害性情報

H316 軽度の皮膚刺激.
H412 長期継続的影響により水生生物に有害.

- 注意書き

P273 環境への放出を避けること.
P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P501 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤ 10	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 1	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	
Edetic acid	CAS-番号 60-00-4	≤ 0,2	Acute Tox. 5 / H303 Eye Irrit. 2B / H320 Repr. 2 / H361 STOT RE 1 / H372 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x), 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO_2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること. 物質が水流や排水路に入った際は、担当の機関に連絡すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること．

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性－全身的作用
Edetic acid	60-00-4	DNEL	1,5 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性－局所的作用
Edetic acid	60-00-4	DNEL	3 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性－局所的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 mg/l	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 mg/l	水中の微生物	海水	短期（単回）

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 $^{mg}/_{kg}$	地球型生物	土壌	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	2,2 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,22 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	海水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	43 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,72 $^{mg}/_{kg}$	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

長期継続的影響により水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 mg/l	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 mg/l	藻類	７２h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 mg/l	藻類	７２h
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	LC50	121 mg/l	魚	９６h

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	EC50	140 $^{mg}/_{l}$	水生無脊椎動物	４８h

混合物の成分の（慢性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	135 $^{mg}/_{l}$	微生物	3 h

12.2 残留性及び分解性

混合物の成分の分解性

物質名	CAS-番号	プロセス	分解率	時刻	方法	出典
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	二酸化炭素生成量	95 %	28 d		ECHA

12.3 生体蓄積性

データなし.

混合物の成分の生物蓄積性

物質名	CAS-番号	BCF	log KOW	BOD5/COD
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3		↸-2,03 (20 °C)	
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	1,8		

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能. 完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号

UN RTDG	UN 3082
IMDGコード	UN 3082
ICAO-TI	UN 3082

14.2 国連輸送名

UN RTDG	環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの
IMDGコード	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.
ICAO-TI	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.
専門名 (危険有害性成分)	ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトンX-100）

14.3 輸送時の危険有害性クラス

UN RTDG	9
IMDGコード	9
ICAO-TI	9

14.4 容器等級

UN RTDG	III
IMDGコード	III
ICAO-TI	III

14.5 環境有害性

	水生環境有害性
環境有害物質（水生環境）	ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトンX-100）

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

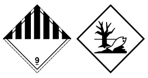
輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

国連番号	3082
正式輸送品名	環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの
クラス	9
環境有害性	該当 (水生環境有害性)
容器等級	III
警告表示ラベル	9, 魚及び木

特別規定 (SP)	274, 331, 335, 375 (UN RTDG)
適用除外 (EQ)	E1 (UN RTDG)
少量危険物 (LQ)	5 L (UN RTDG)

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

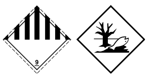
海洋汚染物質	該当 (水生環境有害性) (Triton X-100)
警告表示ラベル	9, 魚及び木



特別規定 (SP)	274, 335, 969
適用除外 (EQ)	E1
少量危険物 (LQ)	5 L
EmS	F-A, S-F
積み込みカテゴリー	A

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

環境有害性	該当 (水生環境有害性)
警告表示ラベル	9, 魚及び木



特別規定 (SP)	A97, A158, A197
適用除外 (EQ)	E1
少量危険物 (LQ)	30 kg

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019015	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	- 輸送容器の適合性: 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと. 認可された（例えば危険物規則書に基づいた）包装容器のみ使用可能.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.1	国連番号: 3082	国連番号	該当
14.1		UN RTDG: UN 3082	該当
14.1		IMDGコード: UN 3082	該当
14.1		ICAO-TI: UN 3082	該当
14.2	国連出荷名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの	国連輸送名	該当
14.2		UN RTDG: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの	該当
14.2		IMDGコード: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S.	該当
14.2		ICAO-TI: Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s.	該当
14.3	クラス: 9 (環境有害性)		該当

5x MagBuffer A

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
14.3		UN RTDG: 9	該当
14.3		IMDGコード: 9	該当
14.3		ICAO-TI: 9	該当
14.4	容器等級: III (少々危険な物資)	容器等級	該当
14.4		UN RTDG: III	該当
14.4		IMDGコード: III	該当
14.4		ICAO-TI: III	該当
14.7	国連番号: 3082		該当
14.7	正式輸送品名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの		該当
14.7	クラス: 9		該当
14.7	容器等級: III		該当
14.7	海洋汚染物質: 該当 (水生環境有害性)	海洋汚染物質: 該当 (水生環境有害性) (Triton X-100)	該当
14.7	国連番号: 3082		該当
14.7	正式輸送品名: 環境有害物、液体、他の危険性を有しないもの		該当
14.7	クラス: 9		該当
14.7	容器等級: III		該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
BCF	生物濃縮係数
BOD	生物化学的酸素要求量
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
COD	化学的酸素要求量
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す
EmS	救急スケジュール
ErC50	≡EC50: 当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
ICAO-TI	危険物の航空安全輸送に係る技術指針
IMDG	国際海上危険物規則
IMDGコード	国際海上危険物規程
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
log KOW	n-オクタノール／水

略	使用した略語の説明
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
UN RTDG	国連・危険物の輸送に関する勧告
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H320	眼刺激.
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い.
H370	臓器の障害.
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H402	水生生物に有害.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

5x MagBuffer A

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

MagBuffer B

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **MagBuffer B**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

水酸化ナトリウム、CAS No 1310-73-2、濃度<1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合
多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合
口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響
症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示
なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤
水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法
火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して
ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置
排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言
下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言
吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術
吸着材.

流出と放出などについての他の事柄
適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照
個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2	国連輸送名	未特定
14.3	輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4	容器等級	未特定
14.5	環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当

MagBuffer B

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細	混合物: 混合物の明細水酸化ナトリウム、CAS No 1310-73-2、濃度<1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当

MagBuffer B

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

MagBuffer C

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **MagBuffer C**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	淡黄色
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	その他の情報	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
酸化性物質

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性 データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当

MagBuffer C

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)

MagBuffer C

略	使用した略語の説明
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

5-methylcytosine (5-mC) Antibody - clone 33D3

バージョン番号: GHS 3.0
次のバージョンの差し替え：: 15.01.2021 (GHS 2)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **5-methylcytosine (5-mC) Antibody - clone 33D3**

製品コード C15200081

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この製品は、緩衝水溶液中の抗体で構成されています。. 0.05%アジ化ナトリウムを含む 防腐剤として.

アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<0; 1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

	自動着火温度	測定できない
	分解温度	データがない
	粘度	測定できない
	爆発性	なし
	酸化性	なし
9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順
混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

急性毒性
急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.3	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50	安全性データシートを提供する供給者の会社名称: Diagenode SA LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3 4102 Seraing ベルギー 電話番号: +32 4 364 20 50 メール: info@diagenode.com	該当
3.2	混合物: 混合物の明細この製品は、緩衝水溶液中の抗体で構成されています。. 0.05%アジ化ナトリウムを含む防腐剤として.アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<0; 1%、GHSによる分類：急性毒性。 2、H300; 急性毒性。 1、H310; STOT RE 2、H373; Aquatic Acute 1、H400; アクアティッククロニック 1、H410.	混合物: 混合物の明細この製品は、緩衝水溶液中の抗体で構成されています。. 0.05%アジ化ナトリウムを含む防腐剤として.アジ化ナトリウム、CAS No 26628-22-8、濃度<0; 1%.	該当
7.1.3	取扱：安全取扱注意事項		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.2.2	保管：技術的対策		該当
7.2.3	保管：混触禁止物質		該当
7.2.1	保管：適切な保管条件		該当
7.3	特定の最終用途: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
11.1	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

Methylated spike-in control

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)
改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Methylated spike-in control**

他の名称 MagMeDIP kit

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<-0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

Methylated spike-in control

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		他の名称: MagMeDIP kit	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度←0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

Methylated spike-in control

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Unmethylated spike-in control

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Unmethylated spike-in control**

他の名称 MagMeDIP kit

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		他の名称: MagMeDIP kit	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

Unmethylated spike-in control

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

MagWash buffer-1

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **MagWash buffer-1**

製品コード C01019016

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316

省略の全文：第１６節を参照.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 警告
- 絵表示 必要ない
- 危険有害性情報
  H316 軽度の皮膚刺激.
- 注意書き
  P332+P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

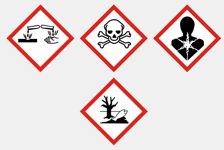
第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
ポリ（オキシエチレン）＝パラ-（1,1,3,3-テトラメチルブチル）フェニル＝エーテル（別名：トリトン X-100）	CAS-番号 9002-93-1	≤ 2	Acute Tox. 4 / H302 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2A / H319 Aquatic Acute 2 / H401 Aquatic Chronic 2 / H411	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 0,2	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．気道刺激の際は医師の診察を受けること．新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤
水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤
水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物
酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して
ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言
下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言
吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術
吸着材.

流出と放出などについての他の事柄
適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性ー全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	海水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 $^{mg}/_{kg}$	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない

	比重	当該特性に関する情報がない
	溶解性	測定できない
	分配係数	
	- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
	自動着火温度	測定できない
	分解温度	データがない
	粘度	測定できない
	爆発性	なし
	酸化性	なし
9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	未特定
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

- 追加情報

セーフティーコーン／ブルーライトの数	0

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019016	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2		混合物: リスト上の修正（表）	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

MagWash buffer-1

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.1	国連番号: 輸送規則の要件は適用されない	国連番号: 未特定	該当
14.7		- 追加情報	該当
14.7		セーフティーコーン／ブルーライトの数: 0	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

MagWash buffer-1

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

MagWash buffer-1

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H319	強い眼刺激.
H370	臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H401	水生生物に毒性.
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

MagWash buffer-2

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **MagWash buffer-2**

製品コード C01019018

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし
9.2 その他の情報	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C01019018	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当

MagWash buffer-2

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

MagWash buffer-2

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

DNA Isolation Buffer (DIB)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 26.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 | **DNA Isolation Buffer (DIB)**

製品コード | C03050001

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 | 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし
9.2 **その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順
混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

急性毒性
急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C03050001	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当

DNA Isolation Buffer (DIB)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 26.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

DNA Isolation Buffer (DIB)

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

proteinase K

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 24.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **proteinase K**

製品コード C06050001/2

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
3.2	皮膚腐食性/刺激性	3	Skin Irrit. 3	H316
3.4R	感作性－呼吸器	1	Resp. Sens. 1	H334

省略の全文：第１６節を参照.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 危険
- 絵表示

GHS08

- 危険有害性情報

H316 軽度の皮膚刺激.
H334 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

- 注意書き

P261	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレ ーの吸入を避けること.
P284	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること.
P304+P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること.
P332+P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること.
P342+P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること.
P501	内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

- 有害成分の表示 Proteinase, tritirachium album serine

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Proteinase, tritirachium album serine	CAS-番号 39450-01-6	2	Skin Irrit. 2 / H315 Eye Irrit. 2 / H319 Resp. Sens. 1A / H334	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 気道刺激の際は医師の診察を受けること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

軽度の皮膚刺激.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性 データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1		製品コード: C06050001/2	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当

proteinase K

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
Resp. Sens.	感作性－呼吸器
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H315	皮膚刺激.
H316	軽度の皮膚刺激.
H319	強い眼刺激.
H334	吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Primer pair for meDNA spike-in ctrl

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Primer pair for meDNA spike-in ctrl**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NOx)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし
9.2 その他の情報	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順
混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

急性毒性
急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<-0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする 。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

Primer pair for meDNA spike-in ctrl

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

Primer pair for meDNA spike-in ctrl

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

Primer pair for unDNA spike-in ctrl

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **Primer pair for unDNA spike-in ctrl**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること．地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう．

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度←0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

Primer pair for unDNA spike-in ctrl

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 07.04.2020 (GHS 1)
改訂日: 23.04.2021

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

Primer pair for unDNA spike-in ctrl

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

human TSH2B primer pair

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 24.03.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名	**human TSH2B primer pair**
製品コード	C17011041

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途	診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この製品は、水性緩衝液中の合成DNAオリゴヌクレオチドで構成されています。 危険な成分は一切含まれていません。. この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用．EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である．使用前に密封性/不浸透性を確認すること．手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること．特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する．

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること．予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する．取扱後は手をよく洗うこと．

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること．

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること．排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

	自動着火温度	測定できない
	分解温度	データがない
	粘度	測定できない
	爆発性	なし
	酸化性	なし
9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性
混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性
常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性
危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件
特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質
追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物
使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報
混合物そのものについて試験データなし.

分類手順
混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

急性毒性
急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性
皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.1	商品名: TSH2B primer pair	商品名: human TSH2B primer pair	該当
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この製品は、水性緩衝液中の合成DNAオリゴヌクレオチドで構成されています。 危険な成分は一切含まれていません。.	混合物: 混合物の明細 この製品は、水性緩衝液中の合成DNAオリゴヌクレオチドで構成されています。 危険な成分は一切含まれていません。. この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当

human TSH2B primer pair

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当

human TSH2B primer pair

バージョン番号: GHS 2.0　　　　改訂日: 23.04.2021
次のバージョンの差し替え：: 24.03.2020 (GHS 1)

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

ChIP-seq grade GAPDH TSS primer pair

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 28.02.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **ChIP-seq grade GAPDH TSS primer pair**

製品コード C17011047

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この製品は、水性緩衝液中の合成DNAオリゴヌクレオチドで構成されています。 危険な成分は一切含まれていません。. この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）．漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること．汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

個人の保護具：第８節を参照．混触禁止物質：第１０節を参照．廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること．よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

	自動着火温度	測定できない
	分解温度	データがない
	粘度	測定できない
	爆発性	なし
	酸化性	なし
9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考
国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当

ChIP-seq grade GAPDH TSS primer pair

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 28.02.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当

ChIP-seq grade GAPDH TSS primer pair

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

GenDNA Digestion buffer

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 01.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **GenDNA Digestion buffer**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

章	危険性クラス	区分	危険有害性クラス及び区分	危険有害性情報
4.1A	水生環境有害性ー短期間（急性）有害性	3	Aquatic Acute 3	H402

省略の全文：第１６節を参照.

最も重要な物理化学的悪影響、健康に対する有害性、環境に対する有害性

消火水の流出により水流汚染を引き起こすおそれ.

2.2 ラベル要素

表示

- 注意喚起語 必要ない
- 絵表示 必要ない
- 危険有害性情報

H402 水生生物に有害.

- 注意書き

P273 環境への放出を避けること.
P501 内容物/容器を産業用ゴミ焼却施設に廃棄すること.

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

物質名	特定名	wt%	GHSに基づいた分類	絵表示
Edetic acid	CAS-番号 60-00-4	≤ 1	Acute Tox. 5 / H303 Eye Irrit. 2B / H320 Repr. 2 / H361 STOT RE 1 / H372 Aquatic Acute 3 / H402 Aquatic Chronic 3 / H412	
Sodium dodecyl sulphate	CAS-番号 151-21-3	≤ 1	Acute Tox. 4 / H302 Acute Tox. 2 / H310 Skin Irrit. 2 / H315 Eye Dam. 1 / H318 STOT SE 1 / H370 STOT RE 2 / H373 Aquatic Acute 1 / H400 Aquatic Chronic 3 / H412	

省略の全文：第１６節を参照.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い．作業域内での飲食と喫煙の禁止．食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し．飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと．通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと．食品、飲料、動物用のエサからは離して保管．

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策．

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること．局所及び全体換気を使用すること．

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと．

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照．

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない．

混合物の成分の関連するDNEL

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	保護目標、ばく露の経路	次の部門に用いられる：	ばく露時間
Edetic acid	60-00-4	DNEL	1,5 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー局所的作用
Edetic acid	60-00-4	DNEL	3 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	急性ー局所的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	285 mg/m³	ヒト、吸入	労働者（企業）	慢性ー全身的作用
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	DNEL	4.060 mg/kg 体重／日	ヒト、経皮	労働者（企業）	慢性ー全身的作用

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Edetic acid	60-00-4	PNEC	2,2 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,22 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	海水	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	43 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Edetic acid	60-00-4	PNEC	0,72 $^{mg}/_{kg}$	地球型生物	土壌	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,176 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	淡水	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,018 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	海水	短期（単回）

混合物の成分の関連するPNEC

物質名	CAS-番号	エンドポイント	閾値	生体	環境コンパートメント	ばく露時間
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,35 $^{mg}/_{l}$	水中の微生物	下水処理場 (STP)	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	6,97 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	淡水堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	0,697 $^{mg}/_{kg}$	水中の微生物	海底堆積物	短期（単回）
Sodium dodecyl sulphate	151-21-3	PNEC	1,29 $^{mg}/_{kg}$	地球型生物	土壌	短期（単回）

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない

自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

下記、「避けるべき条件」を参照.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生生物に有害.

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	LC50	121 $^{mg}/_{l}$	魚	９６h
エチレンジアミン四酢酸	60-00-4	EC50	140 $^{mg}/_{l}$	水生無脊椎動物	４８h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	LC50	29 $^{mg}/_{l}$	魚	９６h
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	ErC50	→120 $^{mg}/_{l}$	藻類	７２h

混合物の成分の（急性）水生毒性

物質名	CAS-番号	エンドポイント	値	生物種	ばく露時間
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	EC50	53 $^{mg}/_{l}$	藻類	７２h

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性 データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号 輸送規則の要件は適用されない

14.2 国連輸送名 未特定

14.3 輸送時の危険有害性クラス 未特定

14.4 容器等級 未特定

14.5 環境有害性 危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当

GenDNA Digestion buffer

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
Acute Tox.	急性毒性
Aquatic Acute	水生環境有害性－短期間（急性）有害性
Aquatic Chronic	水生環境有害性－長期間（慢性）有害性
CAS	化学情報検索サービス機関（公表されたすべての化学物質情報を収集・体系化するサービス機関）
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
DNEL	導出無影響レベル
EC50	半数効果濃度。EC50とは試験した物質の濃度の反応（例えば成長）が一定した期間内に50% 変化することを指す

GenDNA Digestion buffer

略	使用した略語の説明
ErC50	≡EC50:　当方法では被験物質と比較し、濃度の成長 (EbC50) または成長率 (ErC50) が50 %に減少させる物質の濃度をいう
Eye Dam.	眼の重篤な損傷
Eye Irrit.	眼刺激性
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
LC50	半数致死濃度：LC50とは、試験された物質にばく露された生物の50%が一定期間内に死亡する濃度のことをいう
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
PNEC	予測無影響濃度
Repr.	生殖毒性
Skin Corr.	皮膚腐食性
Skin Irrit.	皮膚刺激性
STOT RE	特定標的臓器毒性 （反復ばく露）
STOT SE	特定標的臓器毒性（単回ばく露）
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

関連する警句のリスト（項目2 と項目3 で記すコードと全文を記載）

コード	文
H302	飲み込むと有害.
H303	飲み込むと有害のおそれ.
H310	皮膚に接触すると生命に危険.
H315	皮膚刺激.
H318	重篤な眼の損傷.
H320	眼刺激.
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い.
H370	臓器の障害.

コード	文
H372	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害.
H373	長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ .
H400	水生生物に非常に強い毒性.
H402	水生生物に有害.
H412	長期継続的影響により水生生物に有害.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

GenDNA precipitant

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 01.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **GenDNA precipitant**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO_2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	その他の情報	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性

呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性

生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性

発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性

生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性

誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性

水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性

データなし.

12.3 生体蓄積性

データなし.

12.4 土壌中の移動性

データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果

データなし.

12.6 オゾン層への有害性

データがない

12.6 endocrine disrupting properties

当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報

排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分

完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告

残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1	**国連番号**	輸送規則の要件は適用されない
14.2	**国連輸送名**	未特定
14.3	**輸送時の危険有害性クラス**	未特定
14.4	**容器等級**	未特定
14.5	**環境有害性**	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)

略	使用した略語の説明
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

GenDNA TE

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 01.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **GenDNA TE**

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類
当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示
必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること. 新鮮な空気を入れること.

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと.

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること. 開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと.

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）. 無理に吐かせないこと.

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない.

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

酸化窒素 (NO_x)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと. 環境に適する消防対策を調整すること. 消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと. 汚染された防火用水を別けて回収すること. 標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと.

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること.

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること.

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと. 汚染された水は確保し、廃棄すること.

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし

9.2	**その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

追加情報がない.

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
3.2	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.	混合物: 混合物の明細 この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.エチレンジアミン四酢酸、CAS No 60-00-4、濃度<0.1%.	該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当

GenDNA TE

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.

diagenode
Innovating Epigenetics Solutions

安全データシート

この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253に準じ作成しています

GenDNA RNAse (DNAse-free)

バージョン番号: GHS 2.0
次のバージョンの差し替え：: 01.04.2020 (GHS 1)

改訂日: 23.04.2021

第１節：化学品及び会社情報

1.1 製品特定名

商品名 **GenDNA RNAse (DNAse-free)**

製品コード C06060010

1.2 物質または混合物の関連する特定された使用法

関連性がある特定された用途 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.

1.3 安全性データシートを提供する供給者の会社名称

Diagenode SA
LIEGE SCIENCE PARK Rue du Bois Saint-Jean, 3
4102 Seraing
ベルギー

電話番号: +32 4 364 20 50
メール: info@diagenode.com

1.4 緊急連絡先

名称	道路名	郵便番号／街	電話番号	メール
株式会社ダイアジェノード	富山県富山市荒川1丁目1番25号	〒930-0982	+81 76-482-3110	info.jp@diagenode.com

第２節：危険有害性の要約

2.1 物質及び混合物の分類

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

2.2 ラベル要素

表示

必要ない

2.3 他の危険有害性

重要性がない

第３節：組成及び成分情報

3.1 物質

非該当（混合物）

3.2 混合物

混合物の明細

この混合物には潜在的に危険な製品は含まれていません.

第４節：応急措置

4.1 応急処置の記述

一般的な備考

被災者から目を離さない．被災者を危険区域から移動させ．被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと．汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること．疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること．意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと．

吸入した場合

不規則な呼吸や呼吸停止の場合、ただちに医者の診察を受け、応急処置を開始すること．新鮮な空気を入れること．

皮膚と接触した場合

多量の水と石鹸で洗うこと．

目に入った場合

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること．開瞼しておき、最低１０分間多量な清浄水で洗浄しておくこと．

飲み込んだ場合

口を水ですすぐこと（犠牲者が意識がある際のみ）．無理に吐かせないこと．

4.2 最も重要な急性症状および遅発症状と影響

症状と影響は現状まで知られていない．

4.3 必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示

なし

第５節：火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧, BC-パウダー, 二酸化炭素 (CO_2)

不適切な消火剤

水ジェット

5.2 化学品から生じる特定の危険有害性

有害燃焼生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO_2)

5.3 消火方法

火災や爆発の際には、発生する気体を吸入しないこと．環境に適する消防対策を調整すること．消火水が排水路や水流に流出しないよう防ぐこと．汚染された防火用水を別けて回収すること．標準な警備で妥当な距離から消化活動を行うこと．

第６節：漏出時の措置

6.1 人への予防措置、防具、および応急処置法

非緊急事態要員に対して

ヒトを安全な場所に誘導すること．

緊急事態要員に対して

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーのばく露の際は呼吸器を着用すること．

6.2 環境上の予防措置

排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと．汚染された水は確保し、廃棄すること．

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法、及び機材

流出を封じ込める方法について適切な助言

下水溝を覆うこと

流出を浄化する方法について適切な助言

吸収材で拭き取ること（雑巾、フリース等）. 漏出物を回収すること: おがくず, 珪藻土, 砂, 万能バインダー

適切な封じ込め技術

吸着材.

流出と放出などについての他の事柄

適切な容器にて処分すること. 汚染地域を換気すること.

6.4 他のセクションへの参照

有害性燃焼生成物：第５節を参照. 個人の保護具：第８節を参照. 混触禁止物質：第１０節を参照. 廃棄上の注意：第１３節を参照.

第７節：取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

勧告

- エアゾールやダストの発生及び火災の防止対策

局所及び全体換気を使用すること. よく換気された場所で使用すること.

安全取扱注意事項

使用後の手洗い. 作業域内での飲食と喫煙の禁止. 食事する場所に入る前の、汚染された衣類と防具の取り外し. 飲食物を化学製品と一緒に保管しないこと. 通常食物が保管されている容器に化学製品を入れないこと. 食品、飲料、動物用のエサからは離して保管.

7.1.1 取扱：技術的対策

一般的な安全対策.

7.1.2 取扱：局所排気・全体換気

よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.

7.2 混触危険性を含む、安全な保管条件

影響の制御方法

次の外部ばく露から保護すること：

着霜

7.3 輸送容器の適合性

他の容器に移し替えないこと.

7.4 特定の最終用途

概要は第１６節を参照.

第８節：ばく露防止及び保護措置

8.1 管理パラメーター

この情報は、入手できない.

8.2 ばく露制御

適切な工学的管理方法

一般的な排気.

個人保護装置（個人的保護措置）

眼/顔面の保護

保護眼鏡/保護面を着用.

皮膚の保護

- 手の保護

適切な手袋を着用. EN374に基づいて検査された化学製品保護手袋が適性である. 使用前に密封性/不浸透性を確認すること. 手袋を再度使用したい場合は脱ぐ前に洗い、良く換気すること. 特殊用途の際には手袋の供給者に上記の保護手袋が耐化学薬品性かどうか確認することを推奨する.

- その他の保護

皮膚再生の為に回復期を取ること. 予防用の皮膚保護（バリアクリーム／軟膏）を推奨する. 取扱後は手をよく洗うこと.

呼吸器の保護

【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること.

環境ばく露防止

環境汚染を防ぐため、適切な閉鎖空間で利用すること. 排水路、地表水及び地下水への流出を防ぐこと.

第９節：物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理的性状	液体
色	無色の
- 粒子特性	情報なし
臭気	無臭

特性、安全性評価基準

pH（値）	測定できない
融点／凝固点	測定できない
初留点と沸点範囲	測定できない
引火点	測定できない
蒸発速度	測定できない
可燃性（固体、気体）	非該当, (液体)
蒸気圧	測定できない
密度	測定できない
蒸気密度	この情報は、入手できない
比重	当該特性に関する情報がない
溶解性	測定できない

分配係数

- n-オクタノール／水分配係数 (log KOW)	この情報は、入手できない
自動着火温度	測定できない
分解温度	データがない
粘度	測定できない
爆発性	なし
酸化性	なし
9.2 **その他の情報**	追加情報がない

第１０節：安定性及び反応性

10.1 反応性

混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.

10.2 化学的安定性

常温や気圧の元、当該物品は通常の保管または取扱により安定している.

10.3 有害反応の可能性

危険な反応は知られていない.

10.4 避けるべき条件

特定の避けるべき条件は知られていない.

10.5 混触禁止物質

酸化性物質

10.6 有害な分解生成物

使用、保管、流出、加熱の結果、生じる既知の合理的に予測可能な有害な分解生成物は知られていない. 有害性燃焼生成物：第５節を参照.

第１１節：有害性情報

11.1 毒性影響の情報

混合物そのものについて試験データなし.

分類手順

混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

GHSに基づいた分類

当該混合物は分類対象外.

急性毒性

急性毒性として区分に該当しない.

皮膚腐食性/刺激性

皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.

呼吸器感作性または皮膚感作性
呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.

生殖細胞変異原性
生殖細胞変異原性として区分に該当しない.

発がん性
発がん性として区分に該当しない.

生殖毒性
生殖毒性として区分に該当しない.

単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.

反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.

誤えん有害性
誤えん有害性として区分に該当しない.

第１２節：環境影響情報

12.1 生態毒性
水生環境有害性として分類されない.

12.2 残留性及び分解性
データなし.

12.3 生体蓄積性
データなし.

12.4 土壌中の移動性
データなし.

12.5 PBT と vPvBの評価の結果
データなし.

12.6 オゾン層への有害性
データがない

12.6 endocrine disrupting properties
当該特性に関する情報がない.

12.7 他の有害影響

第１３節：廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

下水処理に関連する情報
排水路中の水を乾燥させてはならない. 外界に漏れるのを防ぐこと。取扱説明書を閲覧すること.

包装材／容器の廃棄物処分
完全に空にした容器はリサイクル可能. 汚染されたこん包は物質その物と同じ取扱いになる.

廃棄物処理に関するその他の勧告
残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.

備考

国レベル又は地域レベルの規定を参考すること. 地元や国の廃棄物管理施設が廃棄物を分けて処理出来るよう、あらかじめ分別するよう.

第１４節：輸送上の注意

14.1 国連番号	輸送規則の要件は適用されない
14.2 国連輸送名	未特定
14.3 輸送時の危険有害性クラス	未特定
14.4 容器等級	未特定
14.5 環境有害性	危険物規則に基づいて環境有害性ではない

14.6 使用者のための特別予防措置

追加情報がない.

14.7 MARPOL73/78 付属書II 及びIBC-Codeによるバラ積み輸送

荷はバラ積み輸送に適していない.

国連モデル規則による情報を提供すること

輸送情報 - 国の規則 - 追加情報 (UN RTDG)

未特定

国際海上危険物規定(IMDG) - 追加情報

IMDG協定対象外.

国際民間航空機関 (ICAO-IATA/DGR) - 追加情報

ICAO-IATA協定対象外.

輸送上の注意

- 国内規制：陸上規制情報	適用されない
- 国内規制：海上規制情報	適用されない
- 国内規制：航空規制情報	適用されない

第１５節：適用法令

15.1 該当物質や混合物に特有な安全、健康および環境に関する規制

追加情報がない.

15.2 化学物質安全性評価

当該混合物に含まれている成分の化学物質安全性評価を実施されていない.

15.3 毒物及び劇物取締法

適用されない.

15.4 化学物質管理促進法

適用されない.

15.5 労働安全衛生法

適用されない.

第１６節：その他の情報

変更された箇所（安全データシートの改訂）

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
1.2	関連性がある特定された用途: 診断または治療手順での使用ではなく、研究用のみ.	関連性がある特定された用途: 診断または治療での使用ではなく、研究用のみ.	該当
1.4	緊急時情報提供: +32 4 364 20 50 当該番号は次の営業時間に利用可能: 月ー金 09:00 - 17:00		該当
1.4		緊急連絡先: リスト上の修正（表）	該当
2.3	他の危険有害性	他の危険有害性: 重要性がない	該当
2.3	PBT と vPvBの評価の結果: 当該混合物にはPBT あるいはvPvBとして特定される物質は含まれていない.		該当
4.1	一般的な備考: 犠牲者から目を離さない. 犠牲者を危険区域から移動させる. 犠牲者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	一般的な備考: 被災者から目を離さない. 被災者を危険区域から移動させ. 被災者に毛布などを掛け、暖かく安静にしておくこと. 汚染された衣服は直ちに脱ぎ去ること. 疑念がある場合や症状が持続する場合には医者の診察を受けること. 意識不明の場合、回復体位にする。口にはなにも入れないこと.	該当
7.1.1		取扱：技術的対策: 一般的な安全対策.	該当
7.1.2		取扱：局所排気・全体換気: よく換気された場所で使用すること. 局所及び全体換気を使用すること.	該当
7.2	次の外部ばく露から保護すること： 霜	次の外部ばく露から保護すること： 着霜	該当
7.3	特定の最終製品: 概要は第１６節を参照.	輸送容器の適合性: 他の容器に移し替えないこと.	該当
9.1		粒子特性: 情報なし	該当
9.1	爆発限界: 測定できない		該当
9.1		分解温度: データがない	該当
10.1	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参考に.	反応性: 混触禁止に関しては：下記「避けるべき条件」と「混触禁止物質」を参照.	該当
11.1	毒性学的影響の情報: 混合物そのものについて試験データが入手できない.	毒性影響の情報: 混合物そのものについて試験データなし.	該当
11.1	急性毒性: 急性毒性として分類されない.	急性毒性: 急性毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として分類されない.	皮膚腐食性/刺激性: 皮膚腐食性/刺激性として区分に該当しない.	該当
11.1	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として分類されない.	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 眼の重篤な損傷性または眼刺激性として区分に該当しない.	該当

GenDNA RNAse (DNAse-free)

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
11.1	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として分類されない.	呼吸器感作性または皮膚感作性: 呼吸器または皮膚感作性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として分類されない.	生殖細胞変異原性: 生殖細胞変異原性として区分に該当しない.	該当
11.1	発がん性: 発がん性として分類されない.	発がん性: 発がん性として区分に該当しない.	該当
11.1	生殖毒性: 生殖毒性として分類されない.	生殖毒性: 生殖毒性として区分に該当しない.	該当
11.1	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として分類されない.	単回ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（単回ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として分類されない.	反復ばく露の場合の特定標的臓器毒性: 特定標的臓器毒性（反復ばく露）として区分に該当しない.	該当
11.1	吸引性呼吸器有害性: 吸引性呼吸器有害性として分類されない.	誤えん有害性: 誤えん有害性として区分に該当しない.	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	オゾン層への有害性: データがない	該当
12.6	他の有害影響: データなし.	endocrine disrupting properties: 当該特性に関する情報がない.	該当
12.7	他の有害影響: データなし.	他の有害影響	該当
13.1		廃棄物処理に関するその他の勧告: 残余廃棄物: 適切な容器にて処分すること. 汚染容器・包装: 適切な容器にて処分すること.	該当
14.7		輸送上の注意	該当
14.7		国内規制：陸上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：海上規制情報: 適用されない	該当
14.7		国内規制：航空規制情報: 適用されない	該当
15.3		毒物及び劇物取締法: 適用されない.	該当
15.4		化学物質管理促進法: 適用されない.	該当
15.5		労働安全衛生法: 適用されない.	該当
16		略語と頭字語: リスト上の修正（表）	該当
16	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規則(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	参考文献とデータ源: ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ）- 日本工業規格. JIS Z7253.国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).	該当

GenDNA RNAse (DNAse-free)

章	以前の登録内容（文書／数値）	現時点の登録内容（文書／数値）	安全対策と関わりがある
16	免責: 現在の知識をもとにした情報. SDSは当商品のみのためにまとめられた.	免責: この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.	該当

略語と頭字語

略	使用した略語の説明
DGR	危険物規則書（IATA/DGR参照）
GHS	国連によって制定された「化学品の分類および表示に関する世界調和システム」
IATA	国際航空運送協会
IATA/DGR	国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR)
ICAO	国際民間航空機関
IMDG	国際海上危険物規則
MARPOL	船舶による汚染の防止のための国際条約　（略：海洋汚染防止条約）
PBT	難分解性、生物蓄積性、有害化学物質を有する物質
vPvB	極めて難分解性で生物蓄積性が高い物質

参考文献とデータ源

ＧＨＳに基づく化学品の分類方法 (JISZ7252). ＧＨＳに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート（ＳＤＳ) - 日本工業規格. JIS Z7253.

国連・危険物の輸送に関する勧告. 国際海上危険物規定(IMDG). 国際航空運送協会 (IATA) に係わる危険物規則書(DGR).

分類手順

物理的及び化学的性質: 試験された混合物に基づく分類.
健康に対する有害性, 環境有害性: 混合物を分類するアプローチは混合物の各成分に基づいている（加算式）.

免責

この情報は、私たちの知識の現状に基づいています。 このSDSはコンパイル済みであり、この製品のみを対象としています。.